

食品の安全性に関する 地域の指導者育成講座について

～平成18年度からの新たなリスクコミュニケーション推進の取組～



取組の背景

食品安全委員会は、平成15年7月の発足以来、リスクコミュニケーションの一環として、新しい食品安全行政の基本的な考え方である「リスク分析」や、国民が高い関心を寄せる「BSE」などのテーマについての意見交換会を全国各地で開催してきました。

しかしながら、委員会が行う意見交換会だけでは、開催回数や参加人数に限界があることから、地域におけるリスクコミュニケーションを効果的・効率的に実施するための取組を新たにスタートさせました。その取組の一つとして、地域の行政職員や

消費者、食品関連事業者などを対象に、リスク分析の考え方や食品安全委員会の活動に関する講演、コミュニケーション能力を高めるための演習を内容とした「食品の安全性に関する地域の指導者育成講座」を実施しました。今後、本講座の受講者が地域におけるリスクコミュニケーションを推進し、情報・理解の裾野を広げていただけることを期待するとともに、その活動を支援するため、委員会からの継続的な情報提供を行う予定にしています。

18年度の実施状況

●プログラム

- ①リスク分析の考え方や食品安全委員会の役割に関する講演
(講師:食品安全委員会委員又は事務局職員)
- ②ゲーミングシミュレーション(※)を用いた、コミュニケーション能力の向上のための演習(講師:順天堂大学医学部 堀口逸子氏)など

※ゲーミングシミュレーション:ゲームの参加者が、与えられた立場(例えば、食品関係企業の社長や消費者など、普段とは違ったいろいろな立場)に立って参加者間で意見を交換しながら、問題の解決策を考える手法。立場によって多様な考え方があることを実感することにより、コミュニケーション能力を高めることができる。

●実施会場

北海道札幌市、秋田県秋田市、栃木県宇都宮市、埼玉県さいたま市、東京都(2ヶ所)、三重県津市、大阪府大阪市、徳島県徳島市、大分県大分市、愛知県岡崎市、岡山県岡山市、広島県広島市、福岡県福岡市の計14ヶ所

●参加者

行政職員、消費者、食品関連事業者など、地域の集まりなどで食の安全について話をする機会のある方

【のべ参加人数】920名(うち公募139名)

【属性内訳】行政関係者47%、事業者26%、消費者24%、その他3%

今後の予定

参加者に対するアンケートの結果、講座内容について一定の評価をいただいた一方で、改善すべき点も明確になりました。

そこで19年度は、いただいたご意見等も踏まえ、内容の改善を図りつつ、引き続き実施する計画です。また、これに加えて、各地

域においてリスクコミュニケーションに関する業務に携わっている方などを対象に、関係者の意見の集約や論点を明確化し、相互の意思疎通を円滑に行うことができる「リスクコミュニケーター」を育成するための講座を新たに開催する予定です。

DVD教材の提供

食品安全委員会は、平成17年度に初めて作成したDVD「気になるメチル水銀」に続き、18年度に以下の3本のDVD教材を作成しました。これらは、関係行政機関等に配布することとしています。詳細は食品安全委員会ホームページでお知らせしています。

■21世紀の食の安全 (リスク分析手法の導入)

上記の指導者育成講座の参加者が、地域での普及活動を行う際に活用できる教材です。

■遺伝子組換え食品って何だろう ～そのしくみと安全性～

■気になる農薬
～安心して食べられる?～

